

秦野の中心地を活性化させます！

— はだのでの様々な出会いや学びを育む多世代交流施設 —



秦野市長 高橋まさかず

秦野市の玄関口である秦野駅北口周辺では、昭和60年(1985年)にシビックマート構想を策定し、以来まち並みの再編と地域の活性化に向けた取り組みが進められてきましたが、関係者のご努力にもかかわらず、結果として、40年前と変わらない現状となっています。

現在、この地域では秦野駅北口・県道705号の拡幅工事が進み、令和8年度には対面通行化が実現します。この時をまちの活性化につなげる絶好のチャンスととらえ、多世代交流施設を整備するとともに、周辺にはホテル等を誘致し、新たなにぎわいを創り出したいと考えています。

長年の懸案であった秦野市の中心地に大きな変化を生み出すことで、ふるさと秦野への誇りと愛着とともに「住んでみよう・住み続けよう」と思っただけの秦野市を目指してまいります。

Q 多世代交流施設のコンセプトは？



※イラストはあくまでもイメージです

Q 整備区域はどこ？

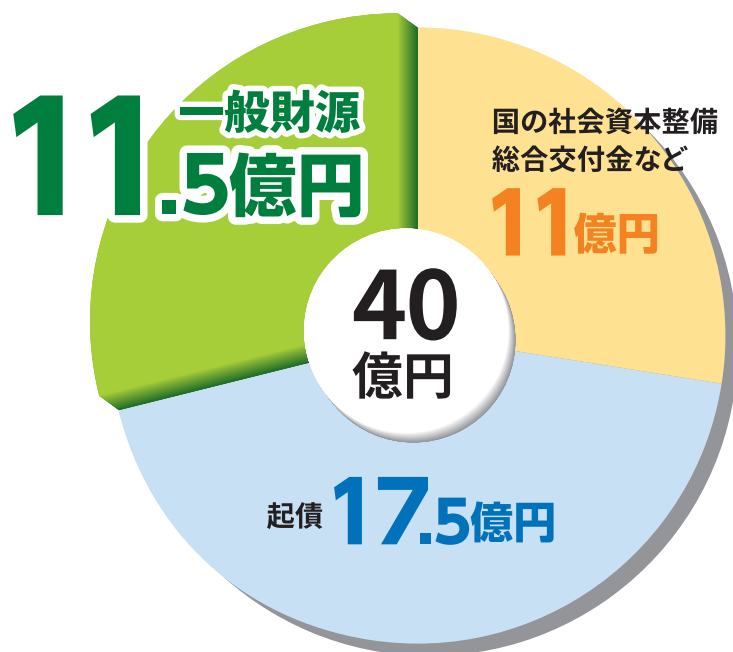
拡幅整備が進む県道705号沿いの本町二丁目地内の約0.4ヘクタールを予定しています。



▼至秦野駅

Q 財源の構成や管理運営費は？

■多世代交流施設の財源構成



■多世代交流施設整備後の
単年度償還額と
歳入見込み

起債の償還額
1.1億円

歳入見込み

1.2億円

— 交付税0.2億円

— 施設使用料
0.5億円

— 行政財産貸付料
0.5億円

償還期間20年としていることから、
それ以後の歳入は管理運営費や
大規模修繕への充当を見込んでいます。

管理運営費は、図書館を参考に
毎年2.2億円を見込んでいます。



Q 施設の規模は？

■整備区域／約4,000㎡（道路整備面積を含む） ■敷地面積／約3,300㎡
■延べ床面積／約5,000㎡ ■構造規模／鉄筋コンクリート造3階又は4階建て

また、起債のうち中心市街地再活性化特別対策事業による特別交付税0.8億円を含む4.5億円
については交付税で措置がされる見込みで、一般財源からの返済額は13億となります。

規模や機能等につきましては、昨年10月に公表した構想案に基づくもので、
今後も、市民の皆さんと対話しながら柔軟に計画を見直していく姿勢で
取り組んでまいります。

Q ハローワーク松田が 秦野にくるってほんと？



多世代交流施設では、若者や女性、子育て世代や高齢者など
への就労支援の充実と働くことを通じた人と人、様々な分野の
企業や事業者間の接点となることを狙いとしています。

更に、国の機関であるハローワークが、松田町から秦野市に
移転する方針を国が示したことから、長年の悲願が実現すること
になります。これにより現在の「秦野市ふるさとハローワーク」で
は取り扱えない雇用保険の手続きも可能となり、管轄区域利用
者の6割以上を占める秦野市民の利便性が大きく向上します。
また、年間約4,500万円（民間の賃貸オフィス賃料を参考に
算出）の賃料収入も得られるため、管理運営費の軽減効果も
期待できます。

